

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝宝箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん、やよいちゃん

8 今里伝兵衛屋敷の井戸跡

今月は古宮にある今里伝兵衛屋敷の井戸跡を
紹介します。

「クイズ」

新井をつくった今里伝兵衛さんはい
つどの時代の人でしょう

- ① 室町時代
- ② 江戸時代
- ③ 明治時代



▲播磨町の恩人を支えたもうひとつの水



今里伝兵衛さんは、江戸時代の初期、一六五六年に新井（農業用水路）をつくった人です。その人の屋敷にあった井戸が今も古宮の一角にあります。

古宮の薬師堂から、そのまま浜へ向う細い道に向かって浜国道を渡ります。渡ってから十メートルほど歩き、左手の塀を見ると「右シヨセフ・ヒコの生家跡 左今里伝兵衛屋敷の井戸の跡」との小さな白い案内があります。案内に沿って左のさらに細い道へと曲がり、右手に注意しながら二件目の家を通りかかるとき、庭の南東奥の一角に案内板が見えます。そこに「今里伝兵衛屋敷の井戸跡」とあります。

今里家は、古宮地区が、まだ「今里」といわれていた室町時代から、この地区をまとめていました。その後、江戸時代になると、今の平岡町の一部も含む古宮組十九か村を治める大庄屋になりました。その中の一六五四年に、この地域を干害が襲ったため、今里伝兵衛さんは一六五六年に新井を完成させました。この人徳のため、一七四九年、姫路藩を揺るがせた寛永の一揆も、この古宮組を襲つのは避けたといわれています。

それほどまで信頼されていた大庄屋の屋敷も、今はもう、案内板の手前に井戸が残るだけとなっています。だが、かつて新井の水がいよいよ古宮の大池に入る日、白装束でここから大池に向かった今里伝兵衛さんほどのような覚悟があったのだろうか、ここに立って思いを馳せるとき、机上では得られない感慨が胸を横切ります。

（郷土資料館 館長 田井恭一）

■ クイズの答 ②江戸時代

町の人口 10月1日現在

34,223人(+3人)

(住民基本台帳人口+外国籍人口)

男…16,813人(+9人)

女…17,410人(-6人)

世帯数…13,514(+7)

